

沖縄地方は、梅雨の季節となりました！

梅雨とは、季節が春から夏に移る間の特に、曇りや雨の多い時期のことを言います。

沖縄地方は、平年では5月9日ごろに梅雨入りを迎え、6月23日ごろまで40日以上梅雨となります。この期間が二十四節気の「小満」「芒種」にあたることから、沖縄では梅雨を方言で「スーマンボースー」とも呼んでいます。

梅雨期は、発達した積乱雲により局地的な大雨や集中豪雨の発生が多くなります。低い土地での浸水や傾斜地での崖崩れ等に警戒が必要です。また、落雷や突風、竜巻などにも注意が必要です

※http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/baiu/kako_baiu01.html

急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！

～すぐに安全な場所に避難しましょう～

発達した積乱雲(雷雲)の下では「急な大雨」、「雷」、「竜巻などの激しい突風」が発生します。川や用水路の急な増水、道路の冠水、落雷、竜巻などの激しい突風などにより、ふだんは何でもない場所が、命を落とす危険な場所になることがあります。積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物などにしばらく避難するなど安全確保に努めましょう。



激しい雨の中を歩くのは危険。
しばらく雨宿りを！



あっという間に水かさが増え、
流れが激しくなります。
川のそばからはなれて！



しばらくの間、
じょうぶな建物の中で、
身を守りましょう。



雷が落ちたり、突風でボールが吹き飛ばされたりします。建物の中に入って！



木に落ちた雷で感電することがあります。木のそばからはなれて！

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)